

3149

CZ
1353
76-01

東 京 圖 書 館

二	新
五	十
架	部
號	類

兵庫縣
市達
貸席藝妓舞妓規則

特28
304

高知多十郎傍訓

兵庫縣
布達

貸席藝娼舞妓規則

CZ
1353
76-01

甲第三十六號

昨明治十年五月甲第七拾四號布達貸席及藝娼舞妓規則今般詮議此
第有之更別冊は通改正候條右は抵觸する從前布達は都て消滅候
儀と可相心得此旨布達候事

明治十一年五月二十日

兵庫縣權令森岡昌純

貸座敷規則

第一條 貸座敷營業の免許地に限る可し他所に於ては決して不相

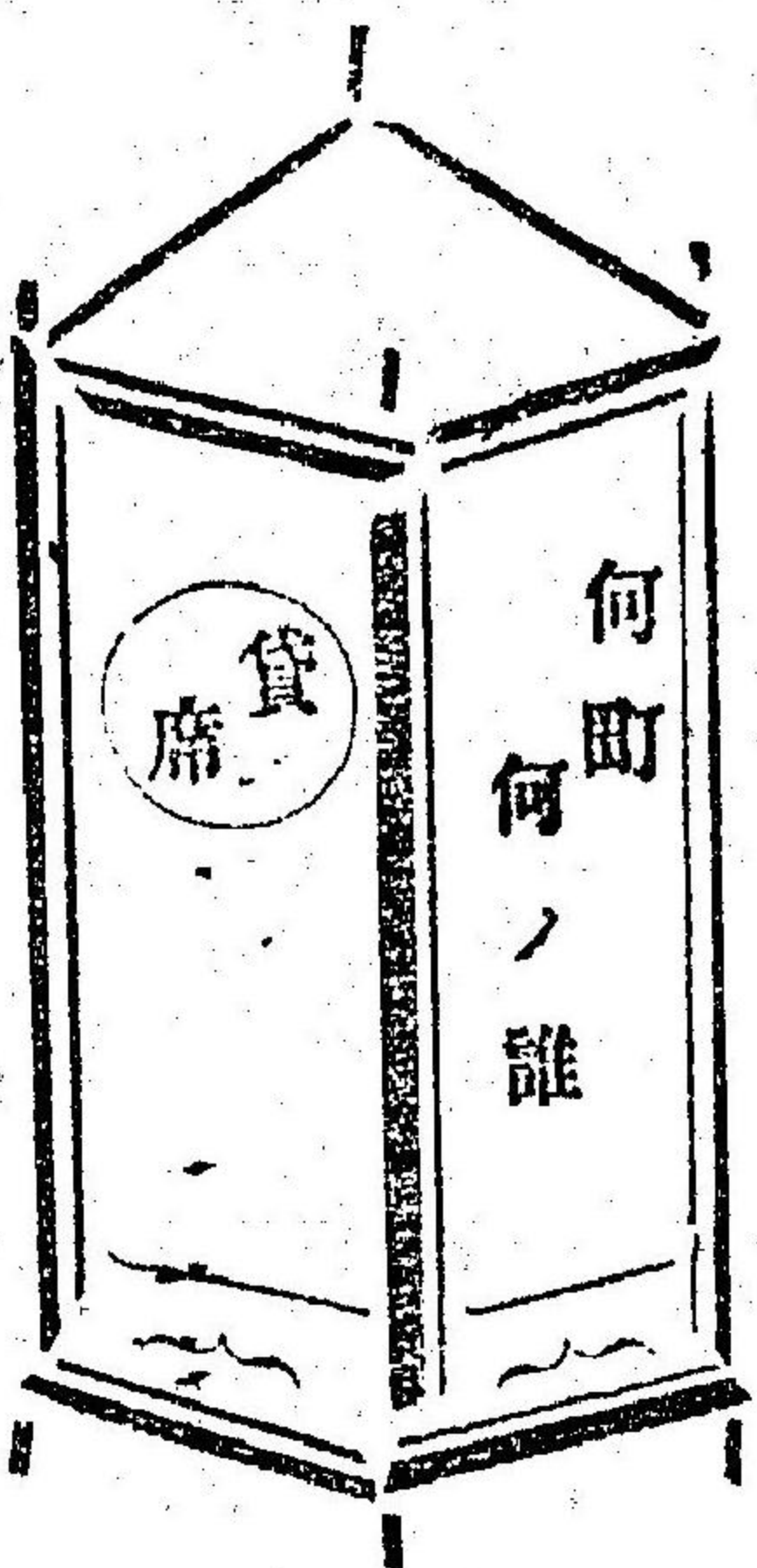
成候事

但華士族の營業不相成候事

第二條 貸座敷とちさんと欲する者は身元引受人と立て戸長并に
取締の輿印を以て所轄の警察署へ願出可し詮議は上免許鑑札可

下渡事

第三條 免許を得て貸坐敷營業するもの左の雛形の行燈を必ず可掲置事



第四條 明治五年十月被仰出候年季解放の御趣意彌堅可相守事

第五條 各地同渡世中取締を設け渾て警察官吏の命令と奉承者貸坐敷及藝娼妓の取締向其他黴毒検査の節不都合無之様可致事

第六條 娼妓に見世を張せ又は通行人へ遊興を勧め候義一切不相成事

第七條 娼妓お渡しある鑑札を見届け許可の年月日并本籍寄留所等帳簿へ記載本人比調印を可取置事

第八條 娼妓命令に従わざる等のまといたる所轄警察署へ訴出其處分と受く可し自儘に苛酷の取計致間敷事

第九條 貸坐敷娼妓規則を各娼妓に渡し置違背不致様厚く注意すべし事

但娼妓の規則を了解致さる者おは篤と教示可致事

第十條 娼妓他の貸坐敷へ轉移し或は廢業せんことを乞ふと然り其旨所轄警察署へ届出べし故あく自由と防げ申間敷事

第十一條 鑑札を持たざる婦女お坐敷を貸し娼妓お紛はし居所業決しく致させ間敷事

第十二條 娼妓は健康清潔に注意し黴毒の検査を受べき趣意篤と

告諭致すへた事

第十三條 娼妓疾病あらは速に醫師を援死珍察を受さすべし

其病徴毒あると死は病院(攝津國は公立兵庫衛毒病院播磨國は所
轉に公立病院)へ入を治療を加ふと雖其他傳染病と認ると死の傳

染せざる様注意致すべき事

第十四條 娼妓より正業に轉就せんと欲するときは決去る故障致

間敷事

第十五條 罪犯人相書と以布達のもの勿論其他不良の徒潛伏候

歎又は金銀遺ひ方不審のもの之ある節は取逃さる様注意致
し置速に其所轉警察署或は分署交番所又ハ巡行の巡查へ密告

可致事

第十六條 貸坐敷に於て音曲放歌午後十二時を限り可相止事

第十七條 税金納期に至り不納のもの鑑札引上止業可申付事

第十八條 此規則に違背候もれハ貸坐敷免許鑑札取上げ又ハ取上
りす罰金三拾圓以内苦使六ヶ月以内の處分可申付事

但此外貸坐敷渡世取締筋に付當縣布達の旨に違背候ものハ總
て本條に依て處分可申付事

第十九條 水火盜難等に鑑札を遺失毀損する者ハ就業地の戸長
并取締の奥印したる書面を以て就業地の警察署へ鑑札書換或は

更ニ下渡を可願出事

第二十條 別紙客人名簿書式に照し一帳簿を製し置死客人毎に詳
明記載を置くべし臨時警部巡查をしし臨檢せまひることあるべ

娼妓規則

第一條 娼妓とあらんと欲するものハ父母連印の上(父母死亡の者ハ五等親中の尊族々々あさきものハ戸主)原籍或ハ寄留所ハ戸長并ニ取締の奥印を以て就業地ハ警察署へ願出ベシ詮議の上免許鑑札可下渡候其許可を得たる上ハ右指令書及鑑札持参速ニ病院(攝津國神戸ハ公立兵庫梅毒病院全國西宮ハ公立兵庫梅毒病院西宮分院播磨國ハ所轄ハ公立病院)へ出頭必らず梅毒の検査を可受事

但し華士族の婦女ハ決まテ營業不相成假命平氏ハ婦女と雖も十五年未滿れも其ハ全上レ事

第二條 娼妓を止めんと欲するときは病院に於テ梅毒の検査を受け其証并ハ原籍或ハ寄留所の戸長及取締の奥印を以テ其日正午十二時迄ハ所轄の警察署へ届出鑑札返納可致事

但本文鑑札返納済の上ハ梅毒の検査を受たる病院へ必らず届出ベシ

第三條 現住の貸坐敷を去リ警察一所轄内ハ係る貸坐敷免許區域内へ移らんと欲し及ハ同免許區域内甲ハ貸坐敷より乙の貸坐敷へ移らんと欲する者ハ父母(父母死亡の者ハ五等親中の尊族々々あさきものハ戸主)連印之上原籍或ハ寄留所の戸長并ニ取締の奥印を以て所轄の警察署へ鑑札書換願出ベシ書換済上ハ梅毒の検査を受くべき病院へ其旨届出ベシ若シ現住貸坐敷より警察所轄違ハの貸坐敷免許區域内へ移らんと欲する者ハ一旦止業鑑札返納の上更ニ第一條の手續を以て就業地ハ警察署へ營業可願出

但し本文移轉の義ハ相對示談の上たるべしと雖も其主故なく

之を拒ミ或は苛酷に取扱をせず於ては所轄警察署へ訴出其處分を可受事

第四條 自宅より出稼し又は貸座敷に同居するも勝手するべし雖も貸座敷免許地區域外へ住居致す間敷尤も猥り区域外に徘徊致候義不相成候事

但し自宅に遠隔に在るものは貸座敷免許區域内へ寄留又同居可致事

第五條 自宅へ客を誘ひ又客の誘引ありとも貸座敷外に宿泊致候義一切不相成事

但し不得止事故有之旅行又自宅よりとも貸座敷免許區域外に宿泊致候節は日敷と記しする願書并梅毒検査済の証と添へ所轄警察署へ願出べく詮議の上許可すべし尤飯席の節に其

日速に所轄警察署へ届出直に病院に於て梅毒検査を可受事

第六條 貸座敷娼妓の規則堅く相守り其了解致し難は條件の坐敷主へ篤と可問合事

第七條 娼妓營業中の所轄病院の規則に随ひ無懈怠梅毒の検査を可受事

第八條 梅毒に罹るときに病院(攝津國の公立兵庫梅毒病院播磨國の所轄公立病院)に於て治療を加ふと雖も其他の病症に貸座敷主へ申出他醫の治療を可受事

第九條 自他の健康を保つる爲め身體及臥具の最も清潔と要すべし梅毒の發するを覺るとは速に検査を可受事

但し客席に臨むと又は病院より配付せし検査済鑑札を携ふ

べし

第十條 後日正業を轉ずるの妨とあるべし大金の負債をあるに
る様厚く心掛け奢侈の所爲有之間敷事

第十一條 正業に移らんと欲すると座敷主故障するときは所轄
警察署へ訴出其處分を可受事

第十二條 何事も依らず客此所業不審あるを見聞候は、速に座
敷主へ密告可致事

第十三條 税金納期お至り不納のもれば其翌日必らず梅毒検査
を遂げさせ然る上鑑札取上げ止業可申付事

第十四條 親病氣或は不得止事故は他管に旅行又ハ歸國せん
と欲する者の第二條の手續を以て止業鑑札返納可致候事〔改正〕

但有毒者おれり入院全治れ上同様可申付事

但去入院中れものは全治の上本文に通用相心得事

第十五條 此規則及び懺毒病院規則を違背候者の罰金貳拾圓以
内苦使五ヶ月以内の處分可申付事

但し此外娼妓稼取締筋に付當縣布達れ旨を違背候者は總て
本條に依る處分可申付事

第十六條 水火盜難等おく鑑札を遺失毀損する者の其席主連署
之就業地の戸長并お取締れ奥印おたる書面を以て就業地の警
察署へ鑑札書換或は下渡を可願出事

第十七條 免許の貸席外お於て營業不相成は勿論免許地區域内
外を論せず他席に於て猥々間敷所業不相成候事

藝妓舞妓規則

第一條 藝妓舞妓等の業を營まんを欲する者の父母〔父母死亡れ

ばし

ばし

ばし

ばし

ばし

ばし

ばし

ばし

ばし

ばし

ばし

者は五等親中の尊族々々無きもれ其戸主連印の上原籍或ハ寄留所等ハ戸長及取締リ取締無之地ハ戸長の連印すべし其奥印と以テ就業地ハ警察署へ願出へし詮議の上免許鑑札可下渡事但し華士族の婦女ハ決テ營業相不成事

第二條 藝妓舞妓等其業を止めんとするときは原籍或ハ寄留所等の戸長奥印を以テ所轄の警察署へ届出鑑札返納可致事

第三條 自宅より出稼し又ハ貸座敷同居するも隨意なるハ泥事

第四條 藝妓舞妓ハ自宅へ客と誘ひ宿泊せしむるハ勿論如何なる場所と雖宿泊し及娼妓に紛ハ敷所業不相成候事

但し難止事情ありて他ハ宿泊可致節ハ前以其旨所轄警察署へ可届出候事

〔改正〕

第五條 藝妓舞妓ハ規則堅ク可相守若し了解難致條件ハ取締或ハ戸長へ可問合事

第六條 後日正業ハ轉ずるの妨とあすものあば所轄警察署へ訴出其處分を可受事

第七條 何事に依らす客の所業不審あるを見聞候ハ速に座敷主又ハ所轄警察署分署交番所或ハ巡行ハ巡查へ密告可致事

第八條 税金納期に至リ不納のものハ鑑札引上止業可申付事

第九條 此規則に違背候者ハ罰金貳拾圓以内若使五ヶ月以内の處分可申付事

但し此外藝妓舞妓稼取締筋ハ付當縣布達ハ旨に違背候ものハ總テ本條ハ依テ處分可付申事

第十條 貸座敷規則第十九條と同文

第十一條 藝妓舞妓の病氣或は其他の事故よて免許地外に至るも妨と雖も營業の勿論領以の所業決しく不相成候事

第十二條 現住の營業地と去り警察一所轄に係る免許區域内へ移らんと欲するもの原籍或は寄留所は戸長并取締の奥印を以て所轄警察所へ鑑札書換願出べし若し現住營業地より警察

所轄違ひれ免許區域内へ移らんと欲するもの一旦止業鑑札返納の上更ふ第一條に手續を以て就業地の警察署へ營業可願出候事

第十三條 親病氣或は不得止事故もく他管に旅行又は歸國せんと欲するもの第二條の手續を以て止業鑑札返納可致候事

第十四條 藝妓兼妓は専ら娼妓規則を遵守すべし事

第十四號 該達中所轄警察署へ願出云々とあるの播磨國に限り當分の

内所轄警察署或は分署へ願出候義と可相心得事

甲第五十六號

本年五月甲第三十六號布達藝妓舞妓規則中左之通改正增加候條此旨布達候事

但該布達中(攝津國は公立兵庫懲毒病院)とあるの(公立神戸病院 附属懲毒院)と改稱候事

明治十一年七月十三日 兵庫縣令森岡昌純

娼妓規則

第四條 但書刪除

第五條 但書不得止事故以下は(旅行又は自宅たりは)九字を刪除

(娼妓規則第十四條藝妓舞妓規則第四條本文改正)

客人名簿書式

本籍住居番地	寄留所止宿所	容貌殊ナル印	中何月何日午后何時來	族士族歟平民歟職
			同 同 同 歸	姓 年 名 齡

正誤 一丁裏七行目(侯)ハ(侯)ノ誤 二丁九行目(防)ハ(妨)ノ誤
 全裏二行目(珍)ハ(診)ノ誤 全四行目(傳)ハ(傳)ノ誤 三丁裏四行
 目(院病)ハ(病院)ノ誤 六丁裏六行目(察)ハ(察)ノ誤 七丁十一行
 目(付申)ハ(申付)ノ誤 全裏十二行目(轉)ハ(轄)ノ誤 ナリ

明治十一年七月御届

大坂府平民

傍訓兼出版人 高知 多十郎

大坂府第五大區一小區
 南平野町二百廿五番地

兵庫縣第一區四之宮前角

賣 弘 小川 活版所

賣 棚 所

神戸榮町四丁目

明石庄助

兵庫福原町

五井庄兵衛

全柳原町

橋本慎三

全佐比江町

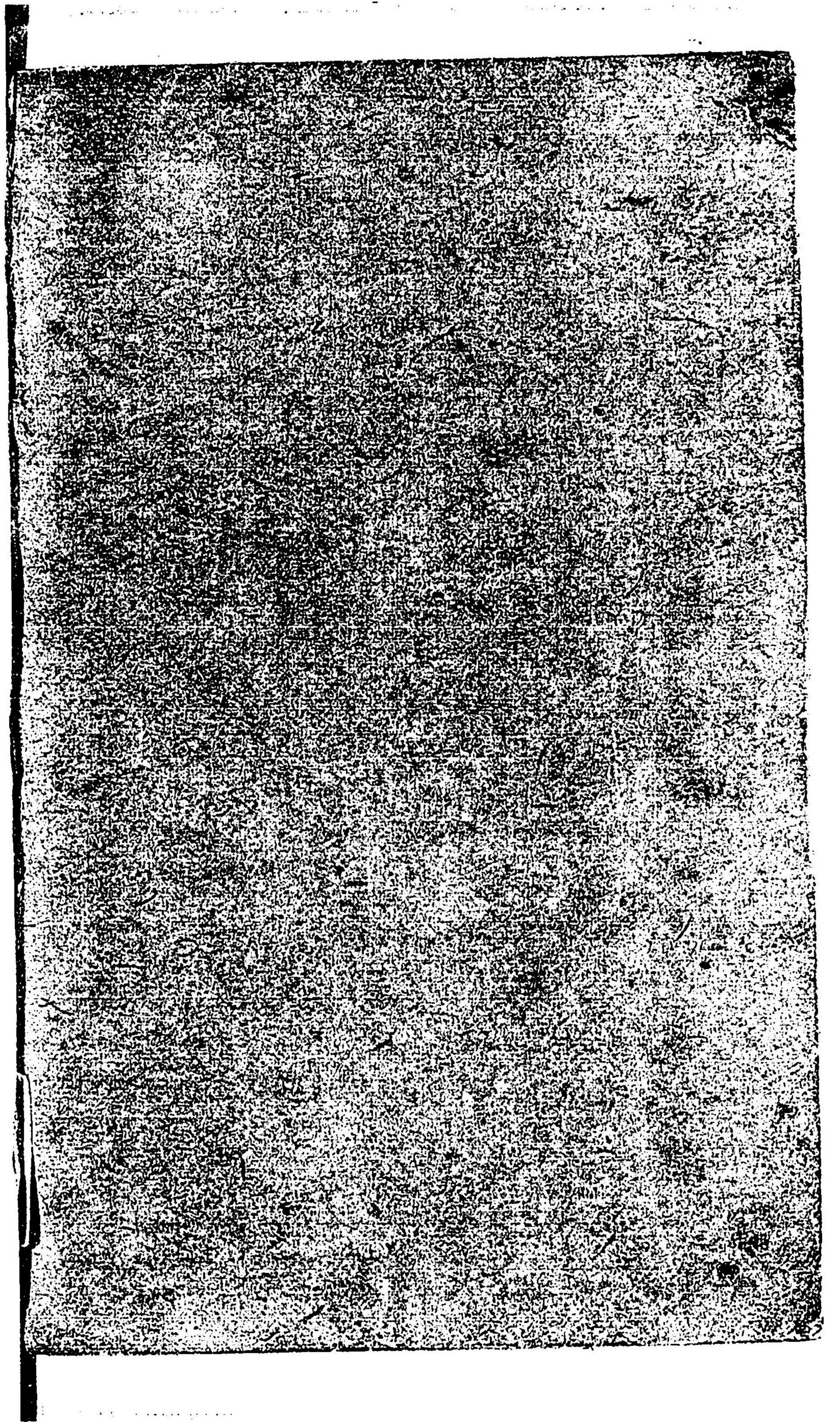
小西伊助

全多聞通楠公前

多聞社

〔印刷大坂小川活版所〕

定價五錢



兵庫縣
市達
貸席藝妓舞妓規則

CZ
1353
76-01

館書圖京東	
函五二	門新
架五	部十
號	類二

033594-000-3

CZ-1353-76-01

貸席芸娼舞妓規則

高知 多十郎/訓

M11

BBK-0437

